

## 関西文化の取組を踏まえた

### 東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムの推進

2020年東京オリンピック・パラリンピックは、国内外の多くの人々に日本文化の素晴らしさや深い精神性を理解いただく絶好の機会である。また、2000万人の訪日外国人旅行者をめざす我が国では、誘客の受け皿となる新たな文化観光資源の発掘と涵養、情報発信が不可欠であり、全国各地からそうした地域固有の文化発信が活発に行われることが、東京一極集中を抑制し、人口減少問題に対する有効な手立てともなると考える。

関西には長い歴史に裏打ちされた文化資源が集積しており、関西広域連合では、「はなやか関西・文化戦略会議」を設置し、関西が一つにまとまって関西各地の文化資源や伝統の上に、オリンピック・レガシーの理念を踏まえ、新しい関西文化を創造する「はなやか関西」の取組を進めている。

ついては、日本文化に重要な位置を占める関西の文化の取組を踏まえた文化プログラムの推進について次のとおり提案する。

- (1) 東京オリンピック・パラリンピック大会の文化プログラムについては、早急に専門委員会を設置し、多種多様な日本文化の蓄積を尊重した計画を策定するとともに、その中に「はなやか関西・文化戦略会議」で検討している関西の取組を十分盛り込むこと
- (2) 文化プログラムの実践を通して、国と地方の協働関係が築いていけるよう、関西における文化の若い担い手育成や次世代への文化の継承の取組など地方の取組への所要の財政支援を行うこと
- (3) リオデジャネイロ大会を見据えた広報戦略を早期に立て、関西をはじめ全国の文化資源や文化創造の取組を世界に向けて大きく情報発信すること

平成26年11月12日

#### 関西広域連合

連合長	兵庫県知事	井戸 敏三
副連合長	和歌山県知事	仁坂 吉伸
委員	滋賀県知事	三日月大造
委員	京都府知事	山田 啓二
委員	大阪府知事	松井 一郎
委員	鳥取県知事	平井 伸治
委員	徳島県知事	飯泉 嘉門
委員	京都市長	門川 大作
委員	大阪市長	橋下 徹
委員	堺市長	竹山 修身
委員	神戸市長	久元 喜造